



Information 役場企画調整課

スマホの基本的な使い方を学べる

はじめてのスマホ教室を開催

町および町社会福祉協議会では、スマートフォンの基本的な使い方を学べる「初めてのスマホ講座」を開催します。

【開催日】 9月19日(火)～10月2日(月)

※土日を除く。各日4講座開催

【定員】 計280人(各講座定員7人)

※複数の講座に申し込みも可能

【申込方法】 専用受付窓口 050-3317-1545 に電話で申し込んでください。申し込みには折り込みチラシに記載されているお問い合わせ番号が必要です。

※役場では申し込み状況の確認はできません。

主な講座内容

基本講座1(初心者向け): 電源の入れ方、電話のかけ方など

基本講座2: インターネットの利用方法、メールの利用方法

基本講座3: アプリのインストール方法、SNSの使い方

応用講座: マイナンバーの申請方法など

▶詳しくは今月の広報に折り込んであるチラシを確認するか、役場企画調整課(☎33-0334)までお問い合わせください。



Information 役場税務住民課

特定小型原動機付自転車(電動キックボードなど)には

ナンバープレートの取り付けが必要です

7月1日から、次の要件に該当する電動キックボードなどは、特定小型原動機付自転車として、新たな交通ルールが適用されました。

特定小型原動機付自転車を所有している方は、ナンバープレートの交付を受ける必要がありますので、役場税務住民課で申請を行ってください。

◆特定小型原動機付自転車の要件

下記の基準をすべて満たすもの。

- ◎車体の大きさは長さ190cm以下、幅60cm以下
- ◎原動機として、定格出力が0.60kw以下の電動機を用いること
- ◎時速20km以上の速度を出すことができないこと
- ◎走行中に最高速度の設定変更ができないこと
- ◎オートマチック・トランスミッション(AT)機構がとられていること
- ◎最高速度表示灯が備えられていること

【申請方法】

販売証明書または譲渡証明書、対象車両の要件を満たすことがわかる書類、本人確認書類を持参のうえ、役場税務住民課で手続きを行ってください。
※税額は、年2,000円です。
※ナンバープレート交付の翌年度から軽自動車税(種別割)として課税します。

▶詳しくは、役場税務住民課(☎33-0337)までお問い合わせください。

Fire Report

いすゞ消防団

その28

万一の事態に備え救命講習を実施

心肺蘇生法やAEDの使用方法を学ぶ



AEDの使用訓練



心臓マッサージの練習

役場防災拠点施設で6月18日と7月9日、4年ぶりとなる普通救命講習が行われ、団員計68人が参加し、熊野市消防署紀宝分署の職員から心肺蘇生法やAED(自動体外式除細動器)の使い方を学びました。
町消防団では定期的に救命訓練を実施し、万一の事態に備えています。
救急車の到着は全国平均で7〜8分ですが、紀宝分署から最も遠い浅里地区までは20分以上かかるため、その間の処置がとても重要です。
研修では倒れている人を発見した場合の対応方法からはじまり、心臓マッサージやAEDの使用方法を学んだほか、喉を詰まらせたときの異物を除去する方法、血を止める方法なども練習しました。

最後にシミュレーション訓練が行われ、車にはねられた人が道路に倒れているとき、川でおぼれた人がいるときなどを想定し、発見してから通報し、救急隊員が到着するまでの流れを3人1組で実践しました。
救急隊長で講師の谷直樹さんは「みなさん一生懸命訓練に取り組んでくれて、質の高い救命処置ができていた。消防団員は地域の人からの信頼があり、救助を求められることもあると思う。迅速な通報と処置が、救命率を高めることにつながる。命を何とか助けられるよう勇気をもって行動してほしい」と呼びかけていました。
団員たちは実践しながらの真剣な様子で訓練を行い、緊急時の対応を学んでいました。

今月の消防団員紹介 No.22

仮屋 真人 さん

(第3分団桐原班・46歳)

地域のために微力ながらもがんばります



◆お仕事は?

自動車の部品を作っている熊野精工で、荷物の出荷を担当しています。

◆入団のきっかけは?

高校卒業後にすぐに入団しましたが、地元を離れたので、一旦辞めました。その後、結婚を機に地元へ戻ったのをきっかけに、再入団しました。

◆趣味は?

釣りが好きで、休みの日に近隣に出かけています。友だちや家族と行くこともあります。

◆消防団について一言

紀伊半島大水害のときは、捜索活動や復旧活動などに参加しました。土砂崩れの光景が恐ろしかったのを覚えています。災害の多い地域なので、住民の安心安全を守るよう心がけています。